

カーボンハーフスタイル推進資料 指導資料

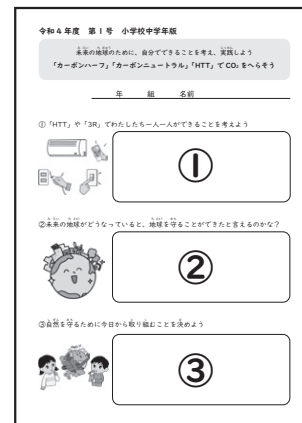
カーボンハーフスタイル推進資料は、温室効果ガスの排出を実質ゼロにするという世界共通のゴールに向けて、自然環境や地域、地球規模の諸課題等の環境保全に関する具体的な内容を示し、児童・生徒に、環境に対する豊かな感受性や探究心、環境に関する思考力や判断力、環境に働きかける実践力など、持続可能な社会を構築していくための資質・能力の育成を図ることを目的に作成した教材です。

本指導資料では、カーボンハーフスタイル推進資料の授業での活用例を紹介します。

カーボンハーフスタイル推進資料の活用例

未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう 「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」「HTT」でCO₂をへらそう

①表題



②ねらい

- 現在、世界共通の問題として対応を迫られている温室効果ガス削減に対する取組について理解する。
- 東京都が発信する「HTT」について知り、自分たちが参加できるCO₂削減についての考え、実践しようとする態度を育成する。

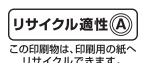
③本教材で扱う 主な内容

カーボンハーフ、カーボンニュートラル、HTT、自分たちができるCO₂削減対策

④主な活動内容

主な活動内容	指導の要点	◆推進資料との関連 ■関連リンク
○推進資料①を見て、「カーボンハーフ」及び「カーボンニュートラル」について知る。	○発電と温室効果ガス排出との関係について説明する。	◆推進資料①
○推進資料②を見て、東京都の取組「HTT」について理解する。	○「カーボンニュートラル」が世界共通の目標であること、「カーボンハーフ」が2030年までに温室効果ガスの排出を2000年比の半分に削減する東京都の取組であることを理解させる。	◆推進資料② ■広報東京都 こども版5月号
○推進資料③を見て、わたしたち一人一人ができることについて話し合う。	○東京都の取組「HTT」について紹介する。	■東京都環境局
○推進資料④を見て、地球の環境を守るためにできることを話し合う。	○「HTT」に取り組むことが、「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」につながることに気付かせる。	◆推進資料③ ◆ワークシート①
○自然を守ることができたときの未来の地球の姿について話し合う。	○「HTT」や3R(リデュース・リユース・リサイクル)といった取組により、自分たちにも自然を守る努力ができるということに気付かせる。	◆推進資料④
○自分ができることを考えて取り組む内容を決め、発表する。	○「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」が達成できたときの未来の地球の姿を想像させる。	◆ワークシート②
	○話し合ったことの中から選んで発表させる。	◆ワークシート③ ■東京都教育庁

※環境教育指導資料は、令和2年3月に各学校に配布した冊子です。
※東京都教育委員会ホームページで、カーボンハーフスタイル推進資料及び本推進資料のイラストや図表等を公開しています。



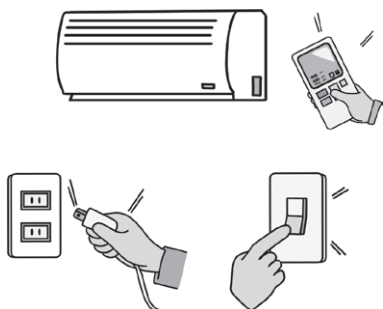
令和4年度 第1号 小学校中学年版

みらい ちぎゅう 未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう

「カーボンハーフ」「カーボンニュートラル」「HTT」でCO₂をへらそう

年 組 名前

① 「HTT」や「3R」でわたしたち一人一人ができることを考えよう



② 未来の地球がどうなっていると、地球を守ることができたと言えるのかな？



③ 自然を守るために今日から取り組むことを決めよう

